

Rotary 



BE THE INSPIRATION
インスピレーションになろう

GOVERNOR'S MONTHLY LETTER

ROTARY INTERNATIONAL DISTRICT 2660

2018-19年度
ガバナー月信 **5**月号

Vol.11

国際ロータリー 第2660地区 ガバナー **山本博史**



GOVERNOR'S MONTHLY LETTER

2018-19年度
ガバナー月信 **5**月号 Vol.11

CONTENTS

ガバナーメッセージ 青少年奉仕月間に寄せて	1
今年度一年間を振り返って	2
我がクラブ紹介	3
IM第2組 ロータリーデー 報告	6
IM第3組 ロータリーデー 報告	7
IM第5組 ロータリーデー 報告	8
IM第5組 フレッシュロータリアン研修交流会を終えて	9
交換学生スキーの集いに参加して	10
社会奉仕活動のクラブ・アンケートとその結果についてのご報告	11
2018-19年度 地区大会 収支報告	12
ローターアクト活動報告	13
ロータリー賞申請のための説明会 報告	15
My ROTARY 登録率	16
米山奨学委員会/ロータリー財団	17
ロータリー財団 寄付状況	18
米山奨学会 寄付状況	20
2019年3月度 会員数・出席報告	22
コーディネーターニュース	23
ハイライトよねやま	24
文庫通信	26



青少年奉仕月間に寄せて

国際ロータリー 第2660地区
ガバナー

山本 博史
(大阪南RC)

5月は若い人々の育成を支援する全てのロータリー活動に焦点を当てる「青少年奉仕月間」です。我々が未来を託す青少年の現状を認識し、多様なニーズを把握し、持続可能な活動が必要で

当地区81クラブのほとんどが熱心に青少年奉仕活動を実施し続けておられます。児童福祉施設への支援、子どもセンター、キッズプラザ、子どもホスピスへの支援、サッカー、野球、相撲等、青少年の為にスポーツ大会の開催や非行少年の支援、子どもの音楽活動の支援、子ども文楽の支援等、実に多岐にわたる多様な活動を行っておられます。

一方、地区の委員会組織としては、RIの公式プログラムであるRAC、IAC、青少年交換、RYLA、学友会等の各クラブの活動をお手伝いする為の委員会を設け、それらを統括し、縦軸、横軸を通す為の青少年奉仕統括委員会を今年度より設置しています。

RACについては、20クラブ約280人のローターアクターが活動しています。様々な奉仕活動を行っていますが、特に近年は献血活動の主体として目覚ましい活動をしてきています。

IACは、10クラブ約300人のインターアクターが活動中、最近ではロータリアン、ローターアクター、インターアクターが共に奉仕活動を行う事が増え、良いケミストリーが生まれてきていると思います。

青少年交換では、過去25年で世界16ヶ国と235名の学生の長期交換を行い、又、現在もその卒業生ローテックス21名が積極的に活動してくれています。

RYLAは、当地区では地区主導ではなく、クラブにホストをお願いする事により毎回、個性あるセミナーを実施しており、チームRYLAの貢献も得て、過去43年間で95回実施し、5,000名を超える青年に受講してもらいました。そして、これらのプログラムの卒業生を対象に2017年日本で最初の地区学友会が誕生し、活動しております。

新しい時代の新しいロータリーづくりの為、ロータリーファミリーを増やし、その中からロータリアンが生まれてくるよう鋭意、努力していきたいと思います。一所懸命、献血を呼び掛けるローターアクター、清掃活動に励むインターアクター、生き生きとした表情で帰国報告をする青少年交換留学生、最終日にチーム発表を行うRYLA受講生達、彼らを見て心洗われ、彼らの成長に貢献したいと願い、彼らに託す日本の将来に確信をもてるのは私1人では無いと思います。

ロータリーに限らず、地域社会、世界にとって青少年は言うまでも無く未来に向けての宝であります。その育成はロータリーの責務であり、その使命に対する決意を新たにす月間であればと思います。

今年度一年間を振り返って



IM第5組
ガバナー補佐 **川上 大雄**
(大阪ユニバーサルシティRC)

今年は元号が「平成」から「令和」に変わるという劇的な年です。

我がロータリーもIM再編成という大きな課題と挑戦に立ち向かった年度でした。

図らずもこのような象徴的な時代にガバナー補佐を拝命したことに運命を感じずにはられません。時代はどんどん加速し、変化して行きます。我々ロータリーも変わらなければ変わらなければと唱えているだけでは何も変わりません。今年度のRIテーマは「BE THE INSPIRATION」このインスピレーションが変革、改革のスタートだと改めて感じましたし、この“BE”に込められたバリー・ラシン会長の思いを痛烈に感じました。

各クラブを訪問させていただいて、気づいたことはどのクラブも共通の悩みを抱えていることです。その最たるものが高齢化に伴う会員の減少、退会防止、そして会員増強です。

それらの課題は非常に現実的な目前の課題ではありますが、そこばかりを凝視するが故に見落としていることがあるのではないのか？今迄、長い歴史の中でロータリーが行ってきたことは、いいことばかり、見直す必要な何かもないと、心の底では思っているのではないのでしょうか！それでは改革変革なんて、まず無理です。

考え方、行動、言動他すべてをゼロから考え直さなければなりません。そのために会員全員のインスピレーションが必要なのです。

改革変革のスタートこそがインスピレーションなのではないでしょうか？

なら、そのインスピレーションって何なの？と思われると思いますが、ロータリーの友4月号のバリー・ラシン会長メッセージの中に「ロータリーが他に類を見ない奉仕活動を行うことができるのは、世界中に広がるロータリーのネットワーク、地域社会ではロータリーが人々の最も必要としていることを把握していて、会員たちが数え切れないスキルや職業にまたがる専門知識を持つおかげなのです。また、私たちが最も必要としている人々に援助の手を差し伸べることで、私たちは彼らのインスピレーションになることができるのです。」

この言葉の中にインスピレーションの種があり、バリー・ラシン会長の思いが“BE”に込められていると思います。目の前のことも大切ですが、大きな視点でロータリーを見直す機会を与えていただいたこの一年に感謝いたします。

我がクラブ紹介

東大阪東RC
会長 水上 雅博

我々のクラブは65名で運営しています。

5月になると、「令和」と年号も変わります。どんな時代になっていくのかは、なかなか予測は難しいのですが、私達のクラブは来期で55周年を迎えます。先輩方々の輝かしい歴史で運営しております。先日の4月6日から、創立55周年の記念行事に取り組んでいます。

「寺子屋こども食堂」を無料で開催しています。これは、我クラブ会員のお寺を利用して頂いています。毎月第一、第三の土曜日に小学生の子供達を集めて行います。キャッチフレーズは以下のようです。

「小学生の皆さん、お寺でいるんな人と一緒にご飯を食べて、勉強したり、遊んだりしませんか？お寺でお昼ご飯を食べて、勉強し、自然の中で遊ぶ寺子屋食堂を開きます。できれば、一年間を通じて参加できる小学生のみなさんの参加をお待ちしております。勉強は、塾の先生を中心に指導して頂きます。宿題をしても良いし、好きな勉強をしましょう。」事情により、土曜日は親が居ない子供や昼食を一緒にとることができないご家庭の手助けを一年間に渡って実行していきます。

また、5月19日(日)に、第13回の「よろず相談」を、「東大阪市立東体育館」にて開催いたします。ロータリーが、いろいろな職業、専門家の集団であることを活用しています。「高齢者の相談」、「法律の相談」、「健康の相談」、「お金の相談」、「生活の相談」、「教育の相談」等々、専門家が、地域の方々と、親しく真剣に相談に応じています。まさに、ロータリーの手でやり遂げる相談室となっています。同時に、子供達も楽しめる「段ボール迷路」、「色とりどりの花市」や「献血」も行っています。職業を活用できる「職業奉仕」、地域社会と共にある「社会奉仕」を十分に行っている相談室です。東大阪東ロータリークラブの全力をあげて取り組んでいます。

この他、「生駒学園」の子供達との一日招待旅行や、「枚岡福祉会」へのマット寄贈や、クリスマスでのプレゼント・ケーキの贈呈等も行っております。また、出前授業等も欠かさず続けています。

東大阪東は、ロータリー活動を多岐に渡って実行しています。

東大阪東ロータリーは、元気にかつ活発な活動を今後も行っていきます。



我が大阪中之島RC

大阪中之島RC
会長 西田 末彦

私共大阪中之島RCは今年度新入会員7名、退会者1名で純増6名、今現在会員数35名のクラブです。これは(私は特段何もしておりませんが)会員一人一人が危機感を持ち、なんとか会員数を50名に近づけようという強い思いがこの様に会員増につながったと思っております。

今年で創立26周年になりますが、発足当初は47名でスタートしたそうです。その後会員数が徐々に減りここ数年は30名前後でした。私が入会させて頂いた時は約12年程前ですが38名で、非常に活気あふれるクラブで各奉仕委員会も常に毎年2~3の奉仕事業をし、アットホームな雰囲気クラブで楽しかった事を覚えています。会員数が減った時もそれは変わらず、今も各奉仕委員会は活発に活動し、地区へもPG始め毎年6~7名の出向者を出しています。それが当クラブの伝統となり活気あふれる秘訣だと思っております。

国際奉仕活動では15年程前からベトナム・ダナン病院への医療支援を続け、4年前に地区からグローバル補助金を受け、関西医大の先生方の協力を得てVTT(職業研修チーム)により大きな支援となりました。内視鏡を使った耳鼻咽喉科の手術は現地で大成功をおさめ、地元のメディアにも大きく取り上げられました。各奉仕事業にも出来るだけ全員参加しようと呼びかけ、以前より多くの会員が参加する様になったと思っております。

当クラブはマイロータリー登録率ほぼ100%(今現在94.3%)、ロータリー財団年次寄付額一人当たり地区全体の3位、ポリオプラス一人当たり寄付額6位、米山奨学寄付額一人当たり4位です。そして何よりの自慢はニコニコの数と金額が多い事です。今年度のスタートは29名の会員数で目標額は240万円でしたが、ほぼ達成しそうな感じでした。これは勿論SAAの努力もありますが、会員全員がして当たり前だという様な雰囲気があるからだと思っております。

まだまだ少ない会員数ではありますが、これからも30周年、50周年と邁進していく所存でありますので皆様の変りませぬご指導ご鞭撻の程宜しくお願い申し上げます。



魚を与えるのではなく、 魚をとれるように助ける支援

東大阪中央RC 国際奉仕委員会
副委員長

岩橋 竜介

はっきり申しまして、小さいです。何が小さいか？ 我がクラブの会員数は、現在18名。もうすぐ創立50年を迎えようとしているのですが、残念ながら時代の波に翻弄され、会員数はどんどん少なくなってしまい、18名です。もちろん、会員増強のために知恵を絞り、努力は続けています。しかし何せ、人数が少ない。こうやってしまいますと、クラブとしては何もできず、毎回の例会や数少ない奉仕活動や地区の行事に参加することだけが、クラブの活動となってしまっているように思われるかもしれません。しかし、我がクラブは違います。他クラブの方が、我がクラブのことをこのように呼んでくださいました。「東大阪中央さんは、『大きなことをする小さいクラブやな』と。その小さいクラブがしている大きいこととは何か？

他クラブも行っている共通の行事(クラブの親睦会、クリスマス会、など)はもちろん、それに加えて当クラブで行っている奉仕活動でご紹介したいのは、やはり国際奉仕として取り組んでいる「ケニア・ナイロビのシープケア学校・給食支援・バスプロジェクト」です。従来国際奉仕では、支援先の団体などが求めている建物、井戸、設備など「差し上げる」支援が中心で、単年度で終了していました。さらに、数年後に再び支援のリクエストが来て、同じように支援するという形が多かったと思います。必要をおぼえている方々に、それを差し上げると大変喜ばれます。しかし、現実はそのがなくなれば再び支援を求めなければいけません。挙句の果てには、支援者に依存するようになってしまい、その現地の問題解決にはなりません。

何が必要なのか？ 当クラブと協力関係をもっている「ハンガーゼロ(一般財団法人日本国際飢餓対策機構)」との協働の中で「魚を与えるのではなく、魚のとりかたを教える」ことこそが、持続可能な自立へ向けた支援であることを教えられ、上記「給食支援バスプロジェクト」を5年計画で実施し、現在は3年目です。約800人のスラム街に住む貧困にあえぐ子どもたちの給食費そのものを支援するのではなく、学校が大型バスを運用し、その収入で給食の経費を捻出できるようにし、当クラブが5年間バスの費用を支援することで、その後は自分たちで自立して給食費を継続的に(持続させて)生み出すことができるようになるという仕組みです。国連が提唱し、山本ガバナーも力強く推進しておられる「SDGs」を我がクラブなりに実現しようとしています。

このために、ファンレイズのためのチャリティーイベントを合わせて行っています。今まで、元阪神タイガースのマートン選手や、ゴルフのレジェンド・中嶋常幸プロなどが協力してくださいました。このイベントが、他クラブの皆様、会員の会社や家族、ひいては地域の人たちとの交流・親睦の時になるという一石二鳥の取り組みにも全会員が一丸となって頑張っています。新しいことをしようとする、伝統にこだわっているクラブでは、反対意見が多く出るかもしれませんが、我がクラブは、積極的な意見や取り組みには、皆が心と意を合わせて取り組めるのは、小さいクラブのいいところでもあると思っています。

会員増強をして大きなクラブになりたい…それは当然ですが、今はこの小ささも強みにして「大きいことをする小さいクラブ」は頑張っています。



IM第2組 ロータリーデー 報告

吹田江坂RC 会長 橋本 豊

IMロータリーデー 実行委員長 長島 寛
(吹田江坂RC)

日 時：2019年3月16日(土) 14：00～16：30

場 所：ホテル阪急エキスポパーク「オービットホール」

テーマ：「地域の未来を知り、インスピレーションになろう！」エリアブランドデザイン～圏域自治体間の信頼と互惠

基調講演講師：吹田市長 後藤圭二氏

パネリスト：摂津市長 森山一正氏、高槻市長 濱田剛史氏、茨木市長 福岡洋一氏

パネルディスカッション進行：フリーアナウンサー 梅田 淳氏

ホストクラブ：吹田江坂RC

登録者数：IM2組15RC 506名、地区役員8名 計514名

出席者数：来賓4名、地区役員12名、IM2組15RC会員206名 計222名

本年度RI会長テーマ「インスピレーションになろう」を我々が実践するうえで、IM第2組15クラブのロータリアンにとって有意義で有効なロータリーデーを目指し、2017年11月に実行委員会を立ち上げ協議を重ねました。その結果、地元の後藤圭二吹田市長を始め、森山一正摂津市長、濱田剛史高槻市長、福岡洋一茨木市長という我々 IM第2組の所属する行政地域のトップをお迎えし、行政区域の垣根を越えた未来ビジョンを議論していただき、今後のIM第2組各クラブの奉仕活動の一助としたいと計画し、総合テーマを「地域の未来を知り、インスピレーションになろう！」といたしました。

2018年6月1日、同11月2日のIM第2組会長・幹事会におきまして、その都度ご報告させて頂き合意を頂いての開催に至りました。

3月16日(土)午後2時、山本博史ガバナーの開会点鐘により2018～19年度IM第2組ロータリーデーは始まりました。後藤圭二吹田市長の基調講演は「エリアブランドデザイン～圏域自治体間の信頼と互惠」というテーマで語っていただきました。1時間に及ぶ講演の内容をここでお伝えするのは無理ですが、要約すると「単独自治体ではできないことが有り、自治体間で連携すると良いことがたくさん有り、連携による成功事例、連携のための必要要素」などを語っていただきました。まさに近隣ロータリークラブが集まり情報交換をするといったIMロータリーデーの趣旨にぴったりの内容で、出席会員も居眠りすることなく熱心に聞き入っていました。

続くパネルディスカッションでは、同じテーマのもと森山摂津市長、濱田高槻市長、福岡茨木市長にも加わっていただき、語り合っていただきました。司会進行の梅田淳氏の軽妙な語りのお蔭で少しテーマとは離れた各市長の素顔も知ることができ、出席者も最後まで席を立つことなく閉会を迎えることができました。

当日の詳細内容は後日、DVDを地区役員・第2組15RCあてご送付いたしますので、是非ご高覧下さいませようお願い申し上げます。

最後になりますが、当初よりご指導賜りました松尾 浩ガバナー補佐には格別にお世話になりました。あらためまして御礼申し上げます。多数の登録、ご出席を賜りましたIM第2組各クラブの皆様には、不行き届きな点もあったかもしれませんが、心より御礼申し上げます。



IM第3組 ロータリーデー 報告

大阪東RC
会長

樋口 武英

IM実行委員長

中川 清孝

(大阪東RC)

テーマ：『想定外』とは言わせない！もし淀川が決壊したら…』
—淀川の歴史に学び、これからを考える—

開催日時：2019年3月23日(土)

開催場所：太閤園「ダイヤモンドルーム」

登録者数：627名

出席者数：335名(地区役員・一般参加者・他組クラブ34名含む)

IM第3組のロータリーデーを、3月23日(土)に、太閤園で開催しました。
IM再編初年度の本年は、当クラブが主幹ということで、1年間にわたって準備して参りました。

私たちは、先ず新IM第3組14クラブの拠点が、ほぼ淀川の左岸に位置することから、『淀川』を新生IM第3組14クラブの“絆”と位置付け、『淀川』について「共に学び、共に備え、そして共に未来に夢を馳せよう」というコンセプトで、メインの講演をお願いするために、国土交通省近畿地方整備局にこのはなしを持ち込んだところ、結果的に同局のご後援まで得ることになった次第です。

私たちはロータリーデーのテーマを『想定外』とは言わせない！もし淀川が決壊したら・・・—淀川の歴史に学び、これからを考える—と題して、講演会を持ち、その後講師の方々と質疑応答をさせて頂くという企画のもとに、講師の方々と打合せを重ねました。

国土交通省近畿整備局河川部の山本佳也河川情報管理官からは、河川管理の歴史から学ぶ水害の備えについて、また、SONPOリスクマネジメント株式会社の高橋孝一氏からは水害を含め平素から有事に対応する仕組みを作るという、BCP(事業継続計画)の大切さについて、それぞれ分かりやすくお話し頂き、京阪ホールディングス株式会社の江藤司氏から、『明日の大阪』に向けての夢と希望を与えるような淀川舟運への取り組みのお話を頂き、その後、西村貞一会員の司会で3人の講師との間で質疑応答をしました。

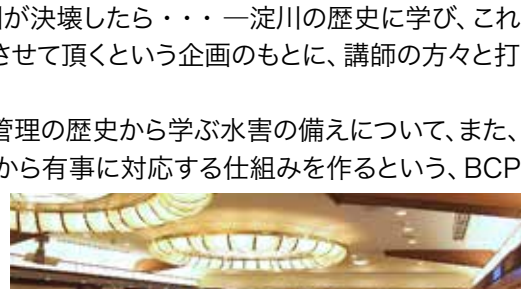
当日は、山本博史ガバナー、丹羽一郎ガバナー補佐をはじめとする地区役員の方々に多数ご列席頂きました。山本ガバナーから「途中退席者がほとんどなく素晴らしいシンポジウムでした」とのコメントをいただきました。

さらに、一般の方々にも参加頂いた結果、総勢約330名が集いました。そしてこの模様は同日の夕方、毎日放送テレビで報道されました。これも地区広報等委員会関係者のロータリーのイメージ向上に向けた熱意とご尽力の賜物と考えております。

その後館内で場所を移して、第2部の懇親会を行いました。懇親会には講師3名を含めて約250名が参加、会場では各クラブ紹介の映像を流しました。

参加者全員和気藹々として、最後まで新IM第3組を楽しんでおられ、ホストクラブとして大変うれしく思うと同時にIM第3組の皆様のご協力に感謝申し上げますと共に厚く御礼申し上げます。

かくして新IM第3組が船出しました。あとは、奉仕の理想を旗印に、大河に浮かぶ『IM第3組号』の無事平穏と、航海の先にある大きな成果を願いつつ、悠久の船旅を共に楽しみましょう。



IM第5組 ロータリーデー 報告

大阪アーバンRC
会長 村上 康司

IMロータリーデー
実行委員長 寺内 俊太郎
(大阪アーバンRC)

日 時：2019年4月6日(土)

会 場：大阪工業大学梅田キャンパスOIT梅田タワー 常翔ホール

基調講演：「Enable Marketing! ～ビジネスを成功に導くマーケティングを機能させる～」

株式会社 刀 代表取締役CEO 森岡 毅 様

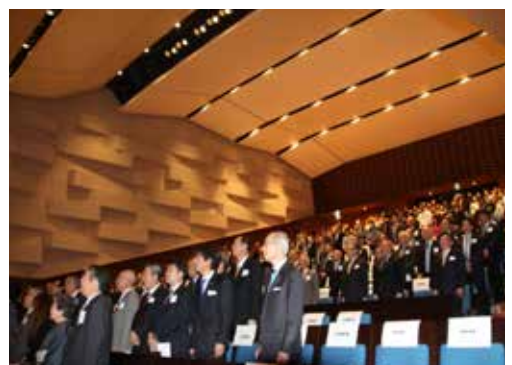
参加登録者数：410名(ロータリアン207名・一般参加者203名)

当日出席者数：339名(ロータリアン165名・一般参加者174名)

IM再編成後初のロータリーデーという重要な年度において、クラブ創立7年目で初めてホストクラブを務めることになり、当初はかなり不安でしたが何とか無事に終えることができました。2017年11月に開催された第1回目のロータリーデー説明会において、山本Gよりロータリーデーの目的や考え方をご説明いただきました。その後、川上G補佐とご相談のうえ、実行委員会にて度重なる議論を経て、バリー・ラシンRI会長の「BE THE INSPIRATION」のテーマと職業奉仕という考えを基に講師を決定しました。また、地域の皆様にもロータリーの活動をPRするため一般公開型にし、案内方法としては各会員からの個別案内の他に、各所属団体やローターアクトクラブへの案内、ホームページをはじめメールやLINE、フェイスブックなど数々のSNSを駆使し多数のご参加をいただきました。

第1部の山本Gの点鐘・ご挨拶から開会式から第3部の閉会式まで、一般の皆様にも全てのプログラムに参加することによって、短い時間ではありましたがロータリーを経験していただくことができました。基調講演では、TVをはじめ多数のメディアにもご出演され、経営難に陥っていたユニバーサル・スタジオ・ジャパンを革新的な「森岡メソッド」で経営再建させた戦略家・マーケターの森岡毅様にお越しいただきました。伊丹市出身の森岡様のプライベートなお話からはじまり「マーケティングとは」「マーケティング・システムの整備」「組織コミュニケーションの活性化」についてのお話で、様々な具体例を挙げ、本では紹介されていない裏話や参加者からの質問にもお答えいただき大変充実した内容でした。第3部の閉会式では、川上G補佐より参加者への御礼のご挨拶の後、各クラブの紹介を一般の皆様にもわかりやすく案内するため、各クラブの活動紹介ムービーを作成し、司会者からもロータリーの紹介があり、少しでもロータリーに興味を持っていただけるように努めました。

終わりに、今回ホストクラブを務めさせていただくにあたり、様々な問題や苦労もありましたが、クラブ全員が一丸となって取り組めたことと、一般の方にもロータリーに対して興味を持っていただく機会にできたこと、そのうえ当クラブに新入会を検討する参加者も見つけることができ、貴重な経験をさせていただくことができました。このロータリーデーを成功させるためにご指導いただきました山本G、川上G補佐、宮里地区代表幹事、そして多大なご協力をいただきましたIM第5組の会長・幹事・会員の皆様とガバナー事務所の皆様に心より御礼申し上げます。



IM第5組 フレッシュロータリアン研修交流会を終えて

FR研修交流会
実行委員長

高野 幸雄
(大阪ユニバーサルシティRC)

日 時：2019年4月6日(土)

場 所：グランド白楽天

参加者：94名(フレッシュロータリアン41名・先輩ロータリアン42名・地区役員11名)

去る平成31年4月6日、大盛況だったIM第5組ロータリーリーダー・プログラム終了後、17時より、会場を移し阪急グランドビル27Fの「グランド白楽天」にて、IM第5組フレッシュロータリアン(以降：FR)研修交流会が開催されました。登録人数としてFR41名、先輩ロータリアン42名、地区役員11名、総勢94名と、想定を上回る参加者を迎えロータリー活動に関する有意義な意見交換の場を得た事をご報告いたします。

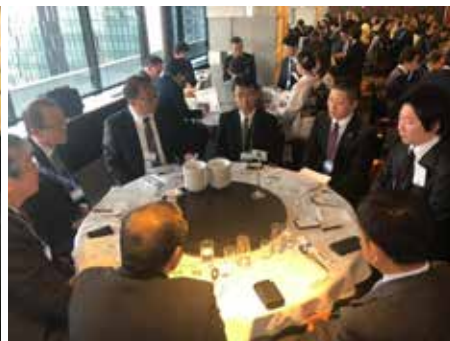
当日は、ホストクラブである大阪ユニバーサルシティRC(以降：UCRC)の中根三恵子会員の司会進行により、先ず主催者である国際ロータリー第2660地区IM第5組川上大雄ガバナー補佐より「開会挨拶」の後、大阪西RC木越正司会員より「私が思うロータリー」と題した講演にて、ロータリーの生い立ち、意義や目的をFRにも判りやすく解説頂きました。

その後は、車座交流会と称しUCRC小林知義幹事による「進行説明」に則り、地区役員・先輩ロータリアンがテーブルマスター・サブマスターとなり、各卓(8名掛け)にてFR各自2分の持ち時間の中、自己紹介や日頃のロータリー活動に関しての疑問点や悩みを相談するという形式で座席を交替して二巡し、活発な意見交換を行いました。短い持ち時間の中、素朴な質問からロータリー精神の真髄に迫る疑問まで、幅広く真摯に意見交換されていたのが印象的でした。

研修交流会の後は、雰囲気を変えての懇親会です。UCRCの福島三雄会長より「開会挨拶」の後、第2660地区山本博史ガバナーに「乾杯挨拶」を頂戴し宴席が始まりました。研修交流会とは一味違った和やかな雰囲気の中先輩ロータリアン・FRの垣根を超え、更に所属クラブの枠を超えての胸襟開いた交流の場となった事と思います。最後は私、本FR研修交流会の実行委員長を仰せ付けられましたUCRCの高野幸雄より「閉会挨拶」を申し上げ、無事に全次第を終了させて頂きました。

末筆になりましたが、お忙しい最中、参加頂きましたFRの皆様、そして、積極的にご指導を頂きました山本ガバナーはじめ地区役員の皆様並びに各クラブ先輩ロータリアンの皆様には大変お世話になりました。この場をお借りして深く御礼申し上げます。

本研修交流会が継続的に開催され、FRはもとより第2660地区全てのロータリアンがロータリーの意義、目的を共有し、有意義なロータリー活動を展開して行くことを祈念致します。



交換学生スキーの集いに参加して

青少年交換委員会
委員松尾 治
(東大阪西RC)

3月25日から2泊3日で国際ロータリー第2660地区RCが主催する交換学生スキーの集いに当地区の来日生らと共に参加いたしました。この行事は今年で32回目を数え、今年は全国9地区から75名の来日生並びに派遣候補生、26名のROTEXに18名の白馬高校生を加えて、計119名の学生が集まり、同行したロータリアンを合わせると総数200名を超える盛大な会となりました。

第2660地区からは来日生5名、派遣候補生3名、ROTEX6名と5名の地区委員を加えた19名の他に、山本ガバナー、近藤RIJYEMアドバイザーが共に参加しました。到着初日は夕食後、RIJYEMオリエンテーション、地区別オリエンテーションが開催され学びを深めました。

その後、交換学生合同前夜交流会があり、学生たちの情報交換が和やかに行われました。

翌日は、開会式後すぐに岩岳スノーフィールドへ移動し、グループに分かれて終日スキーやスノーボードを楽しみました。天候、雪にも恵まれ素晴らしいアルプスでの1日を満喫しました。

夕刻より白馬RCの夜間例会に全員で参加し、地区別の学生によるパフォーマンス披露などもあり、賑やかに交流を深めました。食事と懇親会は学生、ロータリアンと別れて開催され、白馬の夜を楽しみました。最終日は、昼前から風も強くなりリフト、ゴンドラが一時運休する事態になりましたが、全員無事に下山することができました。第2650/2660地区は閉会式には参加せず家路を急ぎました。帰りのバスの中でも学生たちは疲れも見せず、楽しく過ごしていました。

海外の地区に比べ、日本では各地区の来日生が一堂に集まる行事に限られています。それだけに他地区の来日生と交流ができるこのような企画に参加できたことは大きな収穫だったと思います。また、われわれ青少年交換委員にとっても、他地区の委員の方々と情報交換ができ大いに学ばせていただきました。

白馬RCのご尽力でホテルを貸し切りで使わせていただいたことや、グレンデででは白馬高校生やロータリアンが指導役で各班についていただいたことで安心して春山を楽しむこともできました。

こうした行事を30年以上も継続して実施されている白馬RCのご努力に敬意を表するとともに、メンバー各位のおもてなしに重ねて感謝申し上げます。また、バスの手配や現地との連絡をお任せしてしまった第2650地区青少年交換委員会の皆様にも大変お世話になりました。

この場を借りて御礼申し上げます。今後も来日生や派遣候補生、ROTEXにこうした交流の機会が増えることを期待しつつ報告させていただきます。



社会奉仕活動のクラブ・アンケートとその結果についてのご報告

社会奉仕委員会
委員長

塩尻 明夫

(大阪船場RC)

1. はじめに

第2660地区社会奉仕委員会は、2018年に当地区の各クラブが行う社会奉仕活動についてアンケートを実施し、その結果を取りまとめました。

今回このアンケート結果を地区ウェブサイトに掲載するにあたり、当アンケート実施の経緯と簡単な内容や結果についてご報告申し上げます。

2. 近畿・四国(4地区)合同委員会

2018年6月9日(土)、大阪新阪急ホテルにおいて近畿・四国(4地区)合同地区委員会が開催されました。

この会は、2640(大阪府南部)、2660(当地区)、2670(四国)、2680(兵庫県)の隣接4地区が合同で開催し、各地区の委員会活動(社会奉仕のみならず、全ての委員会活動を含む)について意見を交換することを目的として開催された合同委員会です。

当日はいくつかの活動発表がありましたが、中でも2680地区の社会奉仕副委員長からは、地区で実施されている社会奉仕活動に関するアンケートとそのとりまとめ結果についてご報告がありました。このアンケートは精緻に、非常にわかりやすくまとめられており、出席していた私共も大変感銘を受けました。

3. 地区社会奉仕委員会での討議

上記のような情報収集と公開は「地区の各クラブに活動の参考となる情報を提供する」という地区社会奉仕委員会の活動目的にも沿うと判断しましたので、2018年7月24日(火)及び9月25日(火)に開催された地区社会奉仕委員会にて当地区でのアンケート内容を検討し、その後すぐ各クラブに発送致しました。

質問内容については、アンケート記載の通り「プロジェクト名・概要」「実施時期」「期間」「参加人数(RC及びRC以外)」「プロジェクトの目的と効果」「費用総額」「補助金使用の有無」「自由欄(アピールしたい点、問題と解決方法、広報の方法等)」としました。もっと細かく質問事項を設けたいという意見もあったのですが、初めてであることや、集計の手数を考えてこれらの項目に限定しました。

4. 回収と集計結果

活動内容のアンケートについては、以前実施の実績があるとも聞いておりましたが、ずいぶん時間が経っていることから各クラブからの反応やご協力がどれくらいあるかと若干の懸念がありました。

しかしながら蓋を開けてみると、どのクラブからもたくさんのご回答を頂戴することができました。特に、集計の作業を考えて「代表的な活動を3つに絞って記載」とお願いしたにも関わらず「どの活動も重要で、内容も多彩なので絞るのが難しいから全部書かせてほしい」といったご回答が複数寄せられ、委員会としてもうれしい驚きとなりました。

結果、バラエティに富んだ各クラブの活動を多くご紹介できる良いアンケートとなりましたので、その中から早速、2019年2月16日(土)に開催されました地区財団補助金管理セミナーの発表テーマを選定、大変良い評価を頂戴しております。

5. 謝辞

まずは、このアンケートのきっかけとなる貴重な事例をご紹介頂いた第2680地区社会奉仕副委員長本條様に厚く御礼申し上げます。また、このプロジェクトを強力に推して頂いた山本G、質問の作成・発送、大量の回答を的確かつ迅速に整理された事務局杉本様、そして何よりも熱意のこもった活動をたくさんご紹介頂いた各クラブの皆様に対して、地区社会奉仕委員会を代表して心より御礼申し上げます。



2018-19年度 地区大会 収支報告

◆収入の部

項目	金額
地区大会資金 (¥5,000×3687名)	18,435,000
登録料 (10/1会員数) (¥5,000×3655名)	18,275,000
他地区登録料 37名	185,000
晩餐会登録料 454名 (内20名招待)	8,680,000
地区内 ¥20,000×390名 (内 7名招待)	
他地区 ¥20,000× 64名 (内13名招待)	
お祝い金	50,000
雑収入	50
当年度収入合計	45,625,050
前年度繰越金	15,416,404
収入合計	61,041,454

◆支出の部

項目	金額
会長・幹事懇談会	1,489,643
晩餐会	13,802,606
本会議	14,359,775
友愛の広場・オープニングセレモニー	2,834,196
顕彰者昼食会・表彰	777,396
来賓接待	2,470,756
広報・記録	2,139,955
登録・受付	1,415,919
事務・運営費等	4,135,605
当年度支出合計	43,425,851
(当年度収支差額)	(2,199,199)
次年度繰越金	17,615,603
支出合計	61,041,454

以上の通り相違ありません

2019年 2月 19日

国際ロータリー第2660地区 2018-19年度地区大会 実行委員会 大会委員長 小谷 公穂
大会幹事 新開 隆浩
大阪南RC 会長 小林 二郎
大会会計 新居 誠一郎

監査報告

上記決算書について関係帳簿類と照合監査の結果、正確かつ適正であることを認めます。

2019年 3月 4日

次年度地区財務委員長 清水 高士 (大阪西南RC)

地区ローターアクト 活動報告

ローターアクト 代表 **高橋 正洋**
(大阪淀川RAC)

1. 「世界 RAC DAY(地区内全 20 クラブ合同例会)」 報告

世界で一番初めのローターアクトクラブ(以下「RAC」と表記)、アメリカのノースシャーロット RAC が 1968 年 3 月 13 日に発足した日を記念して、3 月 13 日を含む一週間は世界ローターアクト週間と定められています。当地区では、毎年ローターアクト週間の日曜日に地区行事を行ってきました。CHALLENGER 年度(今年度 RAC のターゲット)の今年度は地区行事ではなく、昨年 9 月に開催された「全国統一アクトの日(ホスト池田 RAC)」同様、地区内全 20 クラブの合同例会を下記の通り行いました。

- 日時： 2019 年 3 月 17 日(日)
- 場所： 第一部 各クラブ例会会場周辺
第二部 浪速区民センター
- 参加者：延 191 名 (含 RC35 名)
- ホスト：大阪東 RAC (提唱大阪東 RC)

大会テーマを「私がやる」とし、“今の自分”にできる奉仕事業に焦点を当て二部構成で行いました。



第一部「スポーツごみ拾い」は、ごみ拾いをポイント化して、スポーツのように競い合い、楽しく奉仕活動をするという趣旨のものです。全クラブが自治体への申請や、必要備品の調達、呼びかけ等を主体的に行い、大阪府下 16 地点(4 クラブが合同開催)それぞれのクラブが活動する地元を清掃しました。この様子は取材には繋がらなかったものの、公共イメージ向上を期しマスコミへプレスリリースしました。



また、当日の様子は地区 Facebook ページへ約 80 枚の活動写真として掲載し、3,000 件に及びリアクションを獲得しました。

表彰の基準には①②の基礎点に加え、③～⑤のボーナス点で競いました。①ゴミの量(体積)、②公共イメージ向上(SNS で獲得した「いいね」の数)、③ロータリーファミリーの巻き込み(RC の出席人数)、④延ごみ拾い活動距離、⑤運動量(速度)を設定し、大変盛り上がりしました。



次に第二部では、「職業奉仕ディスカッション」を行いました。ロータリー五大奉仕の一つであり、ロータリー設立来の重要な考え方について RAC ならではのアプローチで、自分たちにできる職業奉仕のあり方を、同業種の RAC、RC で考え、最終的に個人の仕事のやりがいを再確認するためのディスカッションを行いました。自業界のあり方や、社会からの期待について知り、その中で“今の自分”がどんなことをやりがいに思って仕事をする

のか。またそのことが、職業奉仕の第一歩につながると、どのグループも熱心に議論しました。

更に、今回の世界 RAC DAY では本誌 11 月号(vol.5)にも掲載していただいた「関西四地区交流会」にて、検討した“SDGs”実現のために RAC が出来る例会アイデア、からヒントを得て企画した内容でした。SDGs の 17 あるテーマの中から、“住み続けられるまちづくりを”のために、「第一部|スポーツごみ拾い」を行い、全クラブにクリーンハイクがいつでもできるノウハウを備え、例会すなわち“持続可能な取組み”としていつでも活動出来る態勢を整えました。また、「第二部|職業奉仕ディスカッション」では個人の働きがいにも焦点をあてることで“働きがいも経済成長も”というテーマを達成する取り組みとなりました。



2. 「RAC 広報ツールの育成状況とお願い」について

RAC では、今年度より地区広報委員会を立ち上げ「魅力を届けて RAC ファンを増やす」活動に CHALLENGE してきました。広報ツールの一つ Facebook ではページいいね(≒フォロワー)の増加を「未来につながる環境作り(①魅力の届く範囲が広がる、②これからの活動、協力を呼びかける際の財産になる)」と位置づけ、特に目標数値を定めて取り組んでいます。

まだまだ目標の通過点ですが、先日 1,200 いいね👍に到達しました！※

ご報告と、改めて RC の皆様にご報告と、改めて RC の皆様にフォローをしてもらうことが幅広い層に魅力を届ける基盤作りに資することにご理解いただき、更なる協力をお願いするに当たって 2 種類の方法を右図の通りご紹介いたします。

- ※1,200 いいねは、
- RAC 会員数の約 4 倍
- 7 月から 1.25 倍の 240 名増



ロータリー賞申請のための説明会 報告

広報・情報・公共イメージ向上委員会
委員長**樋口 信治**
(大阪RC)

4月1日(月)～5日(金)の5日間、国際ロータリー 2018-19年度「ロータリー賞」申請のための説明会を開催しました。参加頂いたクラブは59クラブ(全体の72.8%) 自力で「ロータリー賞」申請が出来るので説明会には参加されなかったクラブが8クラブ、合計67クラブ(全体の82.7%)が、今年度の「ロータリー賞」申請にチャレンジして頂けることとなりました。

「ロータリー賞」という名称は今年から採用されており、従来は「会長賞」という名前で、各年度の国際ロータリー会長が強調するクラブ活動の中から一定数の活動を行っているクラブに対して表彰が成されています。

「会長賞」と言われていた頃は、紙ベースの申請書を提出して、国際ロータリー事務局がチェックをして表彰が行われていました。この頃地区では毎年数十のクラブが会長賞を受賞していましたが、数年前からMy ROTARY、つまりインターネットを介してRIのホームページにアクセスし、主にロータリークラブ・セントラルにある該当項目にクラブの活動データを入力する事で申請を行うようになってから、申請するクラブが格段に少なくなりました。

クラブの活動は昔も今も活発に行われているにも拘らず、申請方法がアナログからデジタルに変わったがために、申請自体が激減してしまいました。このような状況を放置しておくわけにはいかないという山本ガバナーの強い思いとリーダーシップの下、ガバナー補佐の皆さんがPRに努めて頂き、広報・情報・公共イメージ向上委員会が担当して「ロータリー賞申請のための説明会」を開催することとなりました。

今年度のバリー・ラシン国際ロータリー会長は、3つのグループ(クラブのサポートと強化・人道的奉仕の重点化と増加・ロータリー公共イメージと認知度の向上)に各6つの重点活動項目を「ロータリー賞」に設定しました。クラブは各グループの中から少なくとも3項目(全体で9項目)を達成すると「ロータリー賞」を授与することが出来ます。

これら18項目は7つの申請パターンに分けて申請することが出来ます。当日の説明会では、これら7つの申請パターンを、実際に申請のためパソコンからの入力を担当されるクラブ事務局の方々や、幹事の皆さんに理解頂くことを目的に行いました。

申請方法については、実際にやってみるとそんなに難しいやり方ではないため、申請方法が分からないといった質問はありませんでした。

6月末までにロータリークラブ・セントラルを通じて申請をすることになります。上記の67クラブの中で申請を断念するクラブを数クラブに留めることで、ロータリークラブ・セントラル活用75%の地区目標を達成させ、今年12月の地区大会壇上で多くのクラブが表彰されるようにして参りたいと思います。





2018-19年度 国際ロータリー 第2660地区 MY ROTARY 登録状況 [2019年4月度]

	クラブ名	会員数	登録人数	%
I M 第 1 組	池田	30	27	90.0%
	池田くれは	32	32	100.0%
	箕面	30	20	66.7%
	箕面千里中央	22	8	36.4%
	大阪水都	44	28	63.6%
	大阪中央	47	45	95.7%
	大阪北梅田	60	29	48.3%
	大阪北	189	123	65.1%
	大阪大淀	41	23	56.1%
	大阪そねざき	33	14	42.4%
	大阪梅田	35	17	48.6%
	大阪梅田東	33	27	81.8%
	豊中	35	26	74.3%
	豊中千里	38	19	50.0%
豊中南	22	13	59.1%	
合計	691	451	65.3%	

	クラブ名	会員数	登録人数	%
I M 第 4 組	東大阪	71	56	78.9%
	東大阪東	65	43	66.2%
	東大阪西	30	5	16.7%
	東大阪中央	18	17	94.4%
	東大阪みどり	22	6	27.3%
	大阪柏原	27	11	40.7%
	大阪御堂筋本町	48	24	50.0%
	大阪難波	58	29	50.0%
	大阪なにわ	14	3	21.4%
	大阪ネクスト	25	16	64.0%
	大阪南	181	148	81.8%
	八尾	62	46	74.2%
	八尾中央	11	8	72.7%
	八尾東	27	6	22.2%
合計	659	418	63.4%	

	クラブ名	会員数	登録人数	%
I M 第 2 組	茨木	30	21	70.0%
	茨木東	37	3	8.1%
	茨木西	30	27	90.0%
	大阪東淀ちゃやまち	24	8	33.3%
	大阪淀川	25	6	24.0%
	千里	31	18	58.1%
	千里メイプル	20	13	65.0%
	摂津	34	9	26.5%
	新大阪	34	28	82.4%
	吹田	60	56	93.3%
	吹田江坂	29	22	75.9%
	吹田西	48	48	100.0%
	高槻	52	42	80.8%
	高槻東	38	35	92.1%
高槻西	17	15	88.2%	
合計	509	351	69.0%	

	クラブ名	会員数	登録人数	%
I M 第 5 組	大阪堂島	40	29	72.5%
	大阪フレンド	25	12	48.0%
	大阪みおつくし	14	6	42.9%
	大阪西北	39	21	53.8%
	大阪リバーサイド	34	34	100.0%
	大阪船場	35	24	68.6%
	大阪心斎橋	39	26	66.7%
	大阪西南	111	75	67.6%
	大阪ユニバーサルシティ	38	29	76.3%
	大阪アーバン	28	27	96.4%
	大阪うつぼ	36	30	83.3%
	大阪西	103	54	52.4%
	合計	542	367	67.7%

	クラブ名	会員数	登録人数	%
I M 第 3 組	大東	39	25	64.1%
	大東中央	21	5	23.8%
	枚方	49	19	38.8%
	門真	32	9	28.1%
	交野	35	14	40.0%
	香里園	16	12	75.0%
	くずは	83	81	97.6%
	守口	42	14	33.3%
	守口イブニング	24	2	8.3%
	寝屋川	39	7	17.9%
	大阪東	122	70	57.4%
	大阪城東	37	19	51.4%
	大阪城北	58	34	58.6%
	大阪鶴見	32	25	78.1%
合計	629	336	53.4%	

	クラブ名	会員数	登録人数	%
I M 第 6 組	大阪	266	64	24.1%
	大阪イブニング	15	10	66.7%
	大阪平野	48	42	87.5%
	大阪城南	51	32	62.7%
	大阪中之島	35	33	94.3%
	大阪大手前	27	7	25.9%
	大阪咲洲	18	18	100.0%
	大阪東南	36	27	75.0%
	大阪天満橋	49	29	59.2%
	大阪天王寺	48	25	52.1%
	大阪帝塚山	43	24	55.8%
合計	636	311	48.9%	

	会員数	登録人数	%
2019年 4月4日	3666	2234	60.9%



米山奨学委員会／ロータリー財団

■地区米山奨学委員会より

2019年2月末	全国寄付金合計額	1,140,379,390円 (前年度比 480万円減)																				
//	第2660地区寄付金合計額	77,531,138円 (前年度比 1%増)																				
2019年2月末	全国寄付合計トップ10	<table border="0"> <tr> <td>1. 第2660地区</td> <td>77,531,138円</td> <td>6. 第2590地区</td> <td>50,316,700円</td> </tr> <tr> <td>2. 第2650地区</td> <td>77,411,434円</td> <td>7. 第2580地区</td> <td>47,036,750円</td> </tr> <tr> <td>3. 第2750地区</td> <td>69,832,776円</td> <td>8. 第2820地区</td> <td>40,139,000円</td> </tr> <tr> <td>4. 第2760地区</td> <td>61,688,234円</td> <td>9. 第2780地区</td> <td>39,970,584円</td> </tr> <tr> <td>5. 第2770地区</td> <td>55,558,160円</td> <td>10. 第2790地区</td> <td>39,457,959円</td> </tr> </table>	1. 第2660地区	77,531,138円	6. 第2590地区	50,316,700円	2. 第2650地区	77,411,434円	7. 第2580地区	47,036,750円	3. 第2750地区	69,832,776円	8. 第2820地区	40,139,000円	4. 第2760地区	61,688,234円	9. 第2780地区	39,970,584円	5. 第2770地区	55,558,160円	10. 第2790地区	39,457,959円
1. 第2660地区	77,531,138円	6. 第2590地区	50,316,700円																			
2. 第2650地区	77,411,434円	7. 第2580地区	47,036,750円																			
3. 第2750地区	69,832,776円	8. 第2820地区	40,139,000円																			
4. 第2760地区	61,688,234円	9. 第2780地区	39,970,584円																			
5. 第2770地区	55,558,160円	10. 第2790地区	39,457,959円																			

■米山功労者 次の方たちに米山功労者の称号が贈られました(2019年2月)。

氏名	回	クラブ名	氏名	回	クラブ名	氏名	回	クラブ名
山内 邦夫	10	池田くれは	元古 隆司	2	守口イブニング	梅本 禎親	8	大阪西南
石田 貴子	1	池田くれは	横山 永知	2	守口イブニング	浅井 晃	4	大阪城南
簡 仁一	4	茨木	藤井 良郎	3	守口イブニング	早瀬 道圓	24	大阪中之島
稲本 英治	10	吹田	伴 範子	3	守口イブニング	西辻 豪人	2	大阪東南
井上 大輔	1	吹田	大島 栄子	3	守口イブニング	山下 和郎	2	大阪東南
光在 美和子	2	吹田	吉岡 章夫	3	守口イブニング	井本 喜代次	3	大阪東南
田中 豊司	3	吹田	金崎 正明	3	守口イブニング	松崎 達郎	3	大阪東南
河内 幸枝	6	吹田	小林 澄子	3	守口イブニング	松田 清司	4	大阪東南
多田 雅彦	2	香里園	樋上 重夫	4	守口イブニング	大山 文雄	5	大阪東南
浅井 勝彌	3	香里園	安田 正幸	2	大阪城北	杉浦 勝昭	8	大阪東南
福田 治夫	17	守口イブニング	加納 晴彦	5	大阪城北	田中 研一	8	大阪東南
辻 良介	1	守口イブニング	松林 寛	3	大阪南			

■米山功労クラブ 次のクラブに米山功労クラブの称号が贈られました(2019年2月)。

クラブ名	回数	クラブ名	回数	クラブ名	回数
吹田RC	63	大阪西南RC	82	大阪城南RC	47
守口イブニングRC	10				

■ポール・ハリス・フェロー 次の方にポール・ハリス・フェローの称号が贈られました(2019年2月)。

氏名	クラブ名	氏名	クラブ名	氏名	クラブ名
廣瀬 彰久	守口	竹嶋 修一郎	守口	森垣 佳子	大阪城北

■マルチプル・ポール・ハリス・フェロー 次の方たちはマルチプル・ポール・ハリス・フェローです(2019年2月)。

氏名	回	クラブ名	氏名	回	クラブ名	氏名	回	クラブ名
瑞木 康孝	1	大阪中央	橋本 泰明	2	守口	藪野 功勝	4	大阪リバーサイド
松尾 宗好	1	豊中	川村 弘和	2	守口	三木 文雄	5	大阪リバーサイド
森田 正治	3	豊中千里	松尾 安彦	2	守口	塩中 一成	1	大阪帝塚山
三好 千代子	4	茨木	中島 警子	2	守口	清川 忠義	2	大阪帝塚山
簡 仁一	8	茨木	深田 清一	3	守口	武田 秀孝	4	大阪帝塚山
林 浩志	2	大阪東淀ちゃやまち	元古 隆司	1	守口イブニング			
篠崎 満伸	1	守口	後藤 正伸	2	守口イブニング			

■ベネファクター 次の方にベネファクターの称号が贈られました(2019年2月)。

氏名	クラブ名	氏名	クラブ名
藤井 良郎	守口イブニング	岡田 茂樹	大阪帝塚山



2018-19年度 ロータリー財団 年次基金 寄付状況

2019年4月1日現在

クラブ名	7月期初の会員数	クラブ平均	年次寄付	ベネファクター
大阪中央	46	\$559	\$25,715	
箕面	29	\$523	\$15,170	
大阪中之島	29	\$372	\$10,797	1
茨木西	27	\$320	\$8,633	
八尾中央	12	\$290	\$3,483	
大阪リバーサイド	31	\$274	\$8,496	1
茨木	28	\$269	\$7,522	1
大阪城北	54	\$267	\$14,400	2
大阪西南	109	\$250	\$27,295	2
大阪西北	42	\$202	\$8,503	
守ロイブニング	23	\$200	\$4,600	1
大阪大淀	40	\$195	\$7,794	
大阪うつぼ	36	\$193	\$6,955	
大阪なにわ	14	\$190	\$2,665	
大阪柏原	27	\$190	\$5,134	
東大阪西	31	\$189	\$5,857	
豊中千里	37	\$186	\$6,900	1
大阪心斎橋	38	\$183	\$6,950	1
大阪東	117	\$180	\$21,007	1
大阪咲洲	18	\$176	\$3,164	
くずは	74	\$175	\$12,950	
東大阪	73	\$175	\$12,765	1
大阪フレンド	21	\$171	\$3,600	
大阪そねざき	29	\$171	\$4,950	
香里園	15	\$170	\$2,552	
枚方	49	\$170	\$8,327	1
大阪東淀ちゃやまち	25	\$169	\$4,227	
大阪堂島	39	\$168	\$6,565	
大阪	258	\$168	\$43,281	
大阪城東	37	\$168	\$6,200	1
東大阪東	62	\$167	\$10,372	1
大阪船場	36	\$164	\$5,920	1
大阪西	100	\$160	\$16,025	
大阪梅田	33	\$158	\$5,200	
池田くれは	31	\$157	\$4,861	1
大阪難波	58	\$157	\$9,080	1
八尾東	27	\$155	\$4,188	
千里	29	\$154	\$4,475	
大阪淀川	28	\$154	\$4,320	
大阪北	188	\$154	\$28,935	
大阪帝塚山	43	\$153	\$6,600	1

クラブ名	7月期初の会員数	クラブ平均	年次寄付	ベネファクター
高槻西	19	\$153	\$2,907	
吹田	61	\$150	\$9,161	1
大阪ユニバーサルシティ	34	\$150	\$5,100	
豊中	36	\$149	\$5,380	1
交野	34	\$148	\$5,045	
大阪東南	34	\$147	\$5,009	
高槻東	38	\$146	\$5,550	1
摂津	33	\$146	\$4,804	
大阪南	170	\$145	\$24,650	1
八尾	58	\$142	\$8,259	
吹田西	48	\$139	\$6,671	
吹田江坂	27	\$139	\$3,750	1
大阪御堂筋本町	44	\$139	\$6,105	1
東大阪中央	18	\$133	\$2,400	1
大東	38	\$129	\$4,918	1
池田	31	\$129	\$3,988	
大阪大手前	27	\$124	\$3,360	
大阪鶴見	34	\$112	\$3,813	1
大阪梅田東	37	\$111	\$4,100	
守口	43	\$110	\$4,745	
寝屋川	39	\$107	\$4,173	2
大東中央	20	\$104	\$2,090	1
豊中南	21	\$95	\$2,000	
千里メイプル	20	\$91	\$1,829	
門真	30	\$87	\$2,618	
高槻	51	\$87	\$4,420	
大阪天満橋	50	\$84	\$4,200	1
茨木東	37	\$84	\$3,100	
箕面千里中央	21	\$76	\$1,600	1
大阪天王寺	46	\$76	\$3,482	
東大阪みどり	21	\$74	\$1,563	
新大阪	34	\$65	\$2,195	
大阪城南	46	\$44	\$2,017	
大阪ネクスト	27	\$41	\$1,116	
大阪平野	44	\$34	\$1,492	
大阪イブニング	15	\$33	\$500	
大阪北梅田	63	\$23	\$1,450	
大阪アーバン	29	\$18	\$535	
大阪水都	45	\$11	\$473	
大阪みおつくし	8	\$0	\$0	

7月期初	地区平均	地区年次寄付合計	ベネファクター
3,574	\$158.65	\$566,999.15	33



2018-19年度 ポリオ・プラス基金 寄付状況

2019年4月1日現在

クラブ名	7月期初の会員数	クラブ平均	ポリオ・プラス基金寄付	クラブ名	7月期初の会員数	クラブ平均	ポリオ・プラス基金寄付
交野	34	\$157.56	\$5,357.16	寝屋川	39	\$50.00	\$1,950.00
八尾中央	12	\$148.21	\$1,778.57	大阪城東	37	\$50.00	\$1,850.00
大阪城南	46	\$72.40	\$3,330.49	大阪難波	58	\$50.00	\$2,900.00
大阪中央	46	\$68.38	\$3,145.63	大阪なにわ	14	\$50.00	\$700.00
新大阪	34	\$66.68	\$2,267.00	千里メイプル	20	\$50.00	\$1,000.00
大阪中之島	29	\$66.23	\$1,920.73	吹田西	48	\$50.00	\$2,400.00
大阪うつば	36	\$63.99	\$2,303.57	大阪東南	34	\$49.11	\$1,669.74
八尾	58	\$63.33	\$3,672.85	大阪御堂筋本町	44	\$48.98	\$2,155.00
茨木	28	\$63.21	\$1,770.00	大阪西北	42	\$48.27	\$2,027.18
茨木東	37	\$62.50	\$2,312.50	大阪東淀ちゃやまち	25	\$48.00	\$1,200.00
大阪船場	36	\$61.67	\$2,220.00	東大阪西	31	\$47.77	\$1,480.84
大阪ネクスト	27	\$61.18	\$1,651.79	高槻西	19	\$47.37	\$900.00
枚方	49	\$61.09	\$2,993.41	大阪平野	44	\$46.49	\$2,045.59
豊中千里	37	\$60.84	\$2,250.98	吹田江坂	27	\$46.29	\$1,249.92
大阪柏原	27	\$60.00	\$1,620.00	大阪梅田	33	\$45.73	\$1,508.97
豊中	36	\$60.00	\$2,160.00	大阪堂島	39	\$44.64	\$1,740.96
東大阪	73	\$59.64	\$4,353.64	大阪咲洲	18	\$44.44	\$800.00
大阪西南	109	\$57.34	\$6,250.00	大東	38	\$44.43	\$1,688.25
大阪フレンド	21	\$57.14	\$1,200.00	千里	29	\$42.57	\$1,234.41
大阪そねざき	29	\$56.90	\$1,650.00	箕面千里中央	21	\$41.43	\$870.00
大阪城北	54	\$55.56	\$3,000.25	豊中南	21	\$40.82	\$857.12
茨木西	27	\$55.56	\$1,500.00	高槻	51	\$40.35	\$2,057.91
池田	31	\$54.84	\$1,700.00	大阪南	170	\$39.97	\$6,795.13
くずは	74	\$54.05	\$4,000.00	箕面	29	\$32.91	\$954.47
大阪リバーサイド	31	\$53.72	\$1,665.30	大東中央	20	\$32.50	\$650.00
吹田	61	\$53.57	\$3,267.77	高槻東	38	\$27.82	\$1,057.09
大阪ユニバーサルシティ	34	\$53.09	\$1,805.00	香里園	15	\$27.27	\$409.05
大阪心斎橋	38	\$52.63	\$1,999.99	池田くれは	31	\$27.13	\$841.11
大阪淀川	28	\$52.60	\$1,472.85	守口	43	\$26.37	\$1,134.00
東大阪東	62	\$52.42	\$3,250.00	東大阪みどり	21	\$25.51	\$535.69
守口イブニング	23	\$52.17	\$1,200.00	大阪	258	\$11.83	\$3,053.12
大阪天王寺	46	\$52.17	\$2,400.00	大阪イブニング	15	\$9.65	\$144.81
大阪天満橋	50	\$52.00	\$2,600.00	大阪アーバン	29	\$8.62	\$250.01
八尾東	27	\$51.92	\$1,401.74	大阪梅田東	37	\$6.76	\$250.00
大阪大手前	27	\$51.85	\$1,400.00	東大阪中央	18	\$0.00	\$0.00
大阪北梅田	63	\$51.59	\$3,250.00	門真	30	\$0.00	\$0.00
摂津	33	\$51.52	\$1,700.00	大阪水都	45	\$0.00	\$0.00
大阪帝塚山	43	\$51.16	\$2,200.00	大阪みおつくし	8	\$0.00	\$0.00
大阪西	100	\$51.00	\$5,100.00	大阪鶴見	34	\$0.00	\$0.00
大阪北	188	\$50.27	\$9,450.00	大阪大淀	40	\$0.00	\$0.00
大阪東	117	\$50.11	\$5,862.62				

7月期初	地区平均	地区年次寄付合計
3,574	\$46.11	\$164,794.21



2018-19年度 米山奨学会 寄付状況

2019年2月末日現在

クラブ名	普通寄付	特別寄付	合計	会員数 (1月1日)	寄付者数 (特別寄付)		特別 寄付者 割合	個人平均 寄付額
					個人	法人		
池田くれは	155,000	1,722,000	1,877,000	32	25	0	78.1%	58,656
大阪中之島	315,000	1,595,000	1,910,000	34	35	0	102.9%	56,176
大阪リバーサイド	330,000	1,460,000	1,790,000	34	22	0	64.7%	52,647
東大阪	182,500	2,945,000	3,127,500	73	60	1	82.2%	42,842
大阪城東	185,000	1,135,000	1,320,000	36	38	0	105.6%	36,666
守口イブニング	117,500	700,000	817,500	24	24	0	100.0%	34,062
吹田	302,500	1,740,000	2,042,500	60	58	0	96.7%	34,041
吹田西	240,000	1,380,000	1,620,000	48	46	0	95.8%	33,750
大阪うつぼ	180,000	1,020,000	1,200,000	36	35	0	97.2%	33,333
大阪梅田	167,500	910,000	1,077,500	34	33	0	97.1%	31,691
大阪淀川	265,000	565,000	830,000	27	27	0	100.0%	30,740
大阪咲洲	90,000	460,000	550,000	18	15	1	83.3%	30,555
八尾中央	60,000	302,000	362,000	12	10	0	83.3%	30,166
東大阪中央	90,000	450,000	540,000	18	15	0	83.3%	30,000
大阪東南	170,000	850,000	1,020,000	34	34	0	100.0%	30,000
茨木	590,000	268,000	858,000	29	16	0	55.2%	29,586
豊中南	105,000	500,000	605,000	21	16	0	76.2%	28,809
東大阪東	310,000	1,560,000	1,870,000	65	37	1	56.9%	28,769
大阪東	351,000	3,200,000	3,551,000	125	127	1	101.6%	28,408
大阪南	680,000	4,275,000	4,955,000	177	126	0	71.2%	27,994
東大阪西	91,500	708,000	799,500	30	25	0	83.3%	26,650
八尾	310,000	1,340,000	1,650,000	62	53	0	85.5%	26,612
大東中央	97,500	400,000	497,500	19	16	0	84.2%	26,184
大阪北	1,134,000	3,730,000	4,864,000	189	87	53	46.0%	25,735
大阪心斎橋	192,500	793,000	985,500	39	39	0	100.0%	25,269
大阪堂島	195,000	815,577	1,010,577	40	39	0	97.5%	25,264
高槻東	300,000	629,000	929,000	37	37	0	100.0%	25,108
吹田江坂	137,500	560,000	697,500	28	28	0	100.0%	24,910
大阪難波	345,000	1,050,000	1,395,000	57	55	0	96.5%	24,473
守口	170,000	849,000	1,019,000	42	43	0	102.4%	24,261
大阪御堂筋本町	222,500	845,000	1,067,500	45	42	0	93.3%	23,722
豊中	216,000	612,000	828,000	35	25	2	71.4%	23,657
千里	150,000	580,000	730,000	31	19	0	61.3%	23,548
池田	240,000	429,000	669,000	29	28	0	96.6%	23,068
大阪	1,325,000	4,946,000	6,271,000	272	142	0	52.2%	23,055
大阪柏原	135,000	450,000	585,000	27	27	0	100.0%	21,666
大阪西南	552,500	1,817,548	2,370,048	112	65	0	58.0%	21,161
摂津	167,500	520,000	687,500	33	35	0	106.1%	20,833
大阪船場	222,000	518,000	740,000	36	37	0	102.8%	20,555
大阪西	512,500	1,583,000	2,095,500	102	47	0	46.1%	20,544
大阪中央	230,000	674,100	904,100	46	44	0	95.7%	19,654
大東	185,000	555,000	740,000	38	37	0	97.4%	19,473



クラブ名	普通寄付	特別寄付	合計	会員数 (1月1日)	寄付者数 (特別寄付)		特別 寄付者 割合	個人平均 寄付額
					個人	法人		
高槻西	92,500	239,063	331,563	18	19	0	105.6%	18,420
千里メイプル	100,000	257,000	357,000	20	19	0	95.0%	17,850
大阪鶴見	167,500	400,000	567,500	33	19	0	57.6%	17,196
東大阪みどり	110,000	270,000	380,000	23	9	0	39.1%	16,521
茨木西	142,500	320,000	462,500	28	29	0	103.6%	16,517
八尾東	135,000	305,000	440,000	27	22	0	81.5%	16,296
大阪大手前	168,000	270,000	438,000	27	27	0	100.0%	16,222
交野	87,500	488,000	575,500	36	29	0	80.6%	15,986
大阪天満橋	130,000	650,000	780,000	49	52	0	106.1%	15,918
大阪天王寺	230,000	460,000	690,000	45	46	0	102.2%	15,333
豊中千里	281,250	300,000	581,250	38	3	0	7.9%	15,296
箕面千里中央	107,500	220,000	327,500	22	16	0	72.7%	14,886
茨木東	185,000	330,050	515,050	37	30	1	81.1%	13,920
香里園	60,000	144,100	204,100	15	15	0	100.0%	13,606
大阪大淀	200,000	324,950	524,950	40	32	0	80.0%	13,123
大阪フレンド	90,000	235,000	325,000	25	12	0	48.0%	13,000
寝屋川	190,000	300,000	490,000	38	3	0	7.9%	12,894
大阪西北	202,500	300,000	502,500	39	14	0	35.9%	12,884
大阪城南	240,000	360,000	600,000	47	10	0	21.3%	12,765
箕面	147,500	233,000	380,500	30	22	0	73.3%	12,683
大阪城北	282,500	300,000	582,500	58	3	0	5.2%	10,043
門真	160,000	160,000	320,000	32	32	0	100.0%	10,000
大阪ネクスト	135,000	115,000	250,000	25	4	0	16.0%	10,000
大阪ユニバーサルシティ	172,500	170,000	342,500	35	34	0	97.1%	9,785
高槻	255,000	225,000	480,000	51	21	0	41.2%	9,411
大阪イブニング	75,000	60,000	135,000	15	3	0	20.0%	9,000
大阪梅田東	180,000	115,000	295,000	35	2	0	5.7%	8,428
くずは	222,000	350,000	572,000	80	80	0	100.0%	7,150
枚方	250,000	10,000	260,000	49	1	0	2.0%	5,306
大阪北梅田	312,500	0	312,500	60	0	0	0%	5,208
大阪東淀ちゃやまち	125,000	0	125,000	25	0	0	0%	5,000
大阪なにわ	70,000	0	70,000	14	0	0	0%	5,000
大阪帝塚山	220,000	0	220,000	44	0	0	0%	5,000
新大阪	85,000	83,000	168,000	34	16	0	47.1%	4,941
大阪平野	227,500	0	227,500	47	0	0	0%	4,840
大阪そねざき	101,500	0	101,500	33	0	0	0%	3,075
大阪アーバン	72,500	0	72,500	27	0	0	0%	2,685
大阪水都	66,000	0	66,000	42	0	0	0%	1,571
大阪みおつくし	0	0	0	14	0	0	0%	0
合計	18,095,750	59,435,388	77,531,138	3,643	2,393	60	65.7%	21,282



2019年3月度 会員数・出席報告

I M 組	クラブ名	7月期 初会員 数	3月末会員数		入会 者数 累計	退会 者数 累計	増減	例 会 数	出席率	ホームクラブ 出席率
			全員	女性						
I M 第 1 組	池田	31	30	2	1	2	-1	3	91.67	80.73
	池田くれは	31	32	4	2	1	1	3	93.47	87.84
	箕面	29	30	3	2	1	1	3	78.78	72.50
	箕面千里中央	21	22	4	1	0	1	3	88.26	84.44
	大阪水都	45	44	13	11	12	-1	2	80.76	74.35
	大阪中央	46	47	5	2	1	1	3	82.27	76.25
	大阪北梅田	63	60	6	2	5	-3	4	70.64	60.17
	大阪北	188	189	0	5	4	1	4	78.50	59.05
	大阪大淀	40	41	0	1	0	1	3	82.73	76.36
	大阪そねざき	29	33	20	5	1	4	3	91.53	82.83
	大阪梅田	33	35	7	3	1	2	4	84.45	74.82
	大阪梅田東	37	33	0	0	4	-4	4	78.05	67.58
	豊中	36	35	2	0	1	-1	3	80.78	73.86
	豊中千里	37	38	4	1	0	1	4	81.42	80.16
	豊中南	21	22	2	1	0	1	3	82.53	77.78
小計	687	691	72	37	33	4		83.06	75.25	
I M 第 2 組	茨木	28	30	4	3	1	2	4	87.68	77.85
	茨木東	37	37	5	0	0	0	3	76.47	64.20
	茨木西	27	30	4	4	1	3	4	87.50	76.28
	大阪東淀ちゃやまち	25	24	3	0	1	-1	4	94.44	84.94
	大阪淀川	28	27	5	0	1	-1	5	84.80	65.55
	千里	29	31	2	3	1	2	4	76.11	62.81
	千里メイプル	20	20	4	0	0	0	3	85.00	76.67
	摂津	33	34	2	4	3	1	4	92.18	78.15
	新大阪	34	34	1	0	0	0	4	84.23	79.73
	吹田	61	60	9	0	1	-1	3	98.87	94.80
	吹田江坂	27	29	2	2	0	2	3	98.77	91.66
	吹田西	48	48	2	2	2	0	3	100.00	90.37
	高槻	51	50	6	1	2	-1	4	94.08	80.58
	高槻東	38	38	2	1	1	0	4	92.34	85.91
	高槻西	19	17	0	0	2	-2	3	98.04	88.22
小計	505	509	51	20	16	4		90.03	79.85	
I M 第 3 組	大東	38	39	0	3	2	1	3	94.28	85.91
	大東中央	20	21	12	2	1	1	3	87.52	77.63
	枚方	49	49	1	2	2	0	4	76.56	66.67
	門真	30	32	6	2	0	2	3	90.11	72.40
	交野	34	35	1	2	1	1	4	67.91	62.84
	香里園	15	15	0	0	0	0	3	90.47	76.18
	くずは	74	82	2	9	1	8	3	66.51	61.50
	守口	43	42	5	0	1	-1	4	72.67	68.32
	守口イブニング	23	24	5	1	0	1	3	75.00	65.28
	寝屋川	39	39	4	1	1	0	4	87.21	73.76
	大阪東	117	122	1	13	8	5	3	92.34	76.73
	大阪城東	37	37	8	1	1	0	4	79.45	75.61
	大阪城北	54	58	6	4	0	4	3	86.37	66.10
	大阪鶴見	34	32	3	0	2	-2	3	74.37	69.38
	小計	607	627	54	40	20	20		81.48	71.31

I M 組	クラブ名	7月期 初会員 数	3月末会員数		入会 者数 累計	退会 者数 累計	増減	例 会 数	出席率	ホームクラブ 出席率	
			全員	女性							
I M 第 4 組	東大阪	73	72	0	1	2	-1	4	81.63	66.89	
	東大阪東	62	65	4	3	0	3	3	75.47	52.88	
	東大阪西	31	30	0	1	2	-1	4	82.19	73.73	
	東大阪中央	18	18	0	0	0	0	3	92.11	79.64	
	東大阪みどり	21	22	0	2	1	1	3	60.61	54.55	
	大阪柏原	27	27	2	0	0	0	3	92.20	92.20	
	大阪御堂筋本町	44	48	4	5	1	4	3	87.79	69.43	
	大阪難波	58	58	0	1	1	0	3	78.67	74.18	
	大阪なにわ	14	14	2	0	0	0	3	86.10	83.32	
	大阪ネクスト	27	25	8	0	2	-2	4	44.00	40.00	
	大阪南 (内なみはや衛星)	170	180	7	15	5	10	4	81.35	70.35	
	八尾	58	62	0	4	0	4	4	78.16	71.72	
	八尾中央	12	11	0	0	1	-1	4	79.55	72.73	
	八尾東	27	27	1	0	0	0	4	64.61	59.53	
	小計	642	659	28	32	15	17		77.46	68.65	
I M 第 5 組	大阪堂島	39	41	3	3	1	2	3	81.81	61.78	
	大阪フレンド	21	25	7	13	9	4	3	94.44	72.83	
	大阪みおつくし	8	14	8	8	2	6	2	64.30	50.00	
	大阪西北	42	39	0	0	3	-3	3	89.44	78.01	
	大阪リバーサイド	31	33	7	3	1	2	3	97.70	79.31	
	大阪船場	36	35	1	2	3	-1	3	93.00	78.66	
	大阪心齋橋	38	39	0	2	1	1	5	89.96	77.82	
	大阪西南	109	111	32	4	2	2	4	90.73	66.22	
	大阪ユニバーサルシティ	34	38	4	4	0	4	4	76.32	61.84	
	大阪アーバン	29	28	5	1	2	-1	4	75.00	73.22	
	大阪うつぼ	36	36	4	2	2	0	3	87.79	73.10	
	大阪西	100	103	0	4	1	3	4	79.36	72.88	
	小計	523	542	71	46	27	19		84.99	70.47	
	I M 第 6 組	大阪	258	266	2	20	12	8	4	71.94	58.41
		大阪イブニング	15	15	3	0	0	0	3	73.33	57.78
大阪平野		44	48	2	6	2	4	3	97.09	76.73	
大阪城南		46	51	0	5	0	5	5	100.00	87.28	
大阪中之島		29	35	1	7	1	6	3	94.28	86.66	
大阪大手前		27	27	3	1	1	0	5	89.19	80.89	
大阪咲洲		18	18	1	1	1	0	3	94.44	85.18	
大阪東南		34	35	2	1	0	1	4	77.14	65.00	
大阪天満橋		50	49	0	2	3	-1	2	85.93	79.26	
大阪天王寺		46	48	0	5	3	2	4	89.78	81.28	
大阪帝塚山		43	43	3	2	2	0	3	82.77	76.79	
小計		610	635	17	50	25	25		86.90	75.93	

※()内は衛星クラブの会員数

合計	クラブ名	7月期 初会員 数	3月末会員数		入会 者数 累計	退会 者数 累計	増減	例 会 数	出席率	ホームクラブ 出席率
			全員	女性						
	81	3,574	3,663	293	225	136	89		84.0	73.6

Rotary
Zones 1 & 2 & 3



コーディネーター
NEWS

2019年5月号

発行：Zones 1 & 2 & 3
ロータリーコーディネーター
ロータリー公共イメージコーディネーター

■「ロータリーの未来のビジョン」

国際ロータリーは、戦略計画委員会がロータリアンを対象に3年に一度調査をしています。最終は2017年に実施されています。

2017年調査は戦略計画の策定と、ロータリーの将来に関するビジョンについてロータリアンにアンケート調査しました。今回はローターアクター、学友、ロータリーの職員にも広げました。総計28,000人を超える参加人数でした。

結果、＜強み＞①クラブ例会を通じて友情と親睦を深めている。②長期的なメンバーシップ(会員制)を強く望んでいる。③ロータリーを通じて地元地域ならびに世界をより良くする機会が与えられていると感じている。④関心を示している分野のほとんどは、ロータリーの重点分野及びポリオ撲滅活動によって網羅されている。＜課題＞①若年層と女性会員とローターアクター、学友は若年層と女性会員の割合が高まることを望んでいる。②情報の透明性と説明責任は最優先事項であるがこの分野で後れを取っている。③クラブが戦略計画を立案すればするほど、会員の満足度が高まり、ロータリーの将来に対する楽観的な見解が増える。④かなりの割合のロータリアンが、変化のペースに苛立ちを感じている。⑤多くのロータリアンが、所属クラブがより多くの社会奉仕と国際奉仕のプロジェクトに参加することを望んでいる。⑥プロジェクトや活動に十分参加しないクラブは、参加意欲の低下や会員減につながる恐れがある。

このような結果にて、ビジョン声明「私たちロータリアンは、世界で、地域社会で、そして自分自身の中で、持続可能な良い変化を生むために、人びとが手を取り合って行動する世界を目指しています。」が出されました。

第2ゾーン ロータリーコーディネーター 田中 正規(西尾RC)

■「ストーリーテリングの重要性」

昨年の3月に地域リーダー就任にあたってシカゴの研修で学び、今でも鮮明に覚えていることの一つに、「ロータリーをストーリーで語ろう」があった。ストーリーで語ることで相手に理解されやすく、影響を与えられると言う。因みにインターネットで「ストーリーテリング」を検索すると様々な有益な情報が得られた。少し長いが引用する。「ストーリーテリングとは伝えたい思いやコンセプトを、それを想起させる印象的な体験談やエピソードなどの物語を引用することによって、聞き手に強く印象付ける手法のことです。抽象的な単語や情報を羅列するよりも、相手の記憶に残りやすく、得られる理解や共感が深いことから、企業のリーダーが理念の浸透を図ったり、組織改革の求心力を高めたりする目的で活用するケースが増えている」とあった。ビジネスの世界で「自分の考えや思いを伝える」ことが大切であり、会社の経営理念や商品の説明、またブランディングにおいてもストーリーで語ることは効果的とされる。

この時代、消費者の目は肥えてきて差別化が難しくなってきたり、数字や表だけの説明だけではなかなか共感が得られなくなってきたりしているようだ。先ごろ科学者の学会発表においてもストーリー仕立てにすることの必要性を説く「なぜ科学はストーリーを必要としているのか」という大部な本(ランディ・オルソン著、慶應義塾大学出版会)に出会った。副題に「ハリウッドに学んだ伝える技術」とあった。著者は言う「物語は、信じられないくらい強力だ。ビジネスの現場でのツールとしてだけではなく、世界を理解する上でも、その力は計り知れない」と。

ストーリーテリングの特徴は、語り手が自分の言葉に直して語る場所に特徴がある。同じ物語でも語り手によって味わいを持たせることができる。

ロータリーを外に向かって語る時4つのボイスを活用することが推奨されている。「賢明さ」「思いやり」「粘り強さ」「行動を促す力」の4つである。先日、自クラブの「オープン・ロータリー」で外部の人たち(入会者推薦者含む)を招き、このボイスを使ってロータリーと自クラブの歴史を語る機会があった。25分位の短い時間ではあったが私のスピーチとしてはこのボイスのお陰で珍しくまとまった話ができたように思う。経験豊かなリーダーの世界的ネットワーク、6つの重点分野、青少年交換、インターアクト、ローターアクト、米山記念奨学会、ポリオ撲滅などのロータリーの活動をボイスの視点で整理しながら情熱をもって語ったつもりだ。

ガバナー、ガバナー補佐、地区委員長はロータリー(2つの標語・ロータリーの目的・4つのテスト・戦略計画・中核的価値観・ポリオ撲滅など)を語る機会が多い。その際にボイスを活用しストーリーで語ることを強く推奨する次第である。

第2ゾーン ロータリー公共イメージコーディネーター 柳生 好春(野々市RC)

公益財団法人ロータリー米山記念奨学会マンスリーニュース



2019.4.12

Vol.229

ハイライトよねやま

【訃報】名誉理事長 板橋敏雄氏 逝去



当会名誉理事長（前理事長）の板橋敏雄氏が、3月23日にご逝去されました。享年89（満88歳）でした。

板橋氏は1962年に足利東ロータリークラブに入会され、1987-88年度第255地区（栃木・茨城）ガバナー、1995・96年度国際ロータリー研修リーダー、2001-03年度国際ロータリー理事など、ロータリーにおいて要職を歴任されました。

当会においては、2003-07年度監事、また、2007年8月からは7年間にわたり第5代理事長

をお務めいただきました。ご自身の長いロータリー歴の中でも「米山記念奨学会の理事長という職責ほど、大きなやりがいを感じたものはない」と語り、あらゆる場で当事業の“感動”を伝え、国内外、特に海外学友会には可能な限り足を運ばれました。理事長在任中には中国・タイ・ネパール・モンゴルのほか、国内を含めると9つもの学友会が誕生し、当事業の発展のために多大なご尽力をいただきました。

4月23日には足利市民会館において、社葬として葬儀・告別式が行われるとのことです。

ここに謹んで哀悼の意を表し、氏のご冥福をお祈り申し上げます。

2019 学年度新規奨学生オリエンテーション開始

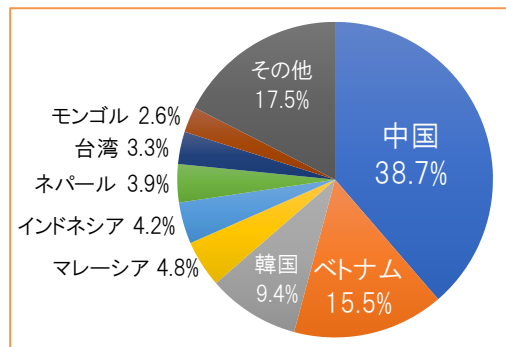
2019学年度の奨学生は昨年度より17人増の871人となりました。新規採用者641人、継続者230人です（4月10日現在）。国・地域別に見ると、中国38.7%、ベトナム15.5%、韓国9.4%、マレーシア4.8%、インドネシア4.2%の順です。

プログラム別では、学部・修士・博士課程奨学金が812人

（学部：321人、修士：268人、博士：223人）、地区奨励奨学金17人、クラブ支援奨学金9人、海外学友会推

薦奨学金4人、今年度から正規プログラムとなった海外応募者対象奨学金は29人となっています。3月30日を皮切りに、今月下旬まで、

各地区でオリエンテーションが開催されます。オリエンテーションは、奨学生とカウンセラーが出会い、奨学生としての義務やロータリーについて理解してもらう場です。確約書に署名した後、正式に米山奨学生となります。どうぞ温かくお迎えください。



寄付金速報 — 2018-19年度も残り3カ月 —

3月までの寄付金は、前年同期と比べて0.6%減（普通寄付金：0.07%減、特別寄付金：0.9%減）、約730万円の減少となりました。普通寄付金、特別寄付金ともに前年同期比から減少しているものの、過去5年間の平均寄

付額からは上回っており、堅調を維持しています。今年度も残り3カ月を切りました。今後は特別寄付金が主な寄付金収入となります。引き続きご協力賜りますようお願い申し上げます。

ミャンマー学友会総会報告 — 新体制が始動 —

ミャンマー米山学友会総会が3月3日、ヤンゴン市内のホテルで開催され、学友とゲストを合わせて15人が出席しました。総会では、来賓として出席した武田和夫常務理事、滝澤功治常務理事からの祝辞に続いて、ミャンマー元日本留学生協会（MAJ A）のミョー・キン会長から「ミャンマー米山学友会は、MAJ Aの一員としても大変活躍している」との賛辞が送られました。

昨年度の活動報告として、経済的困難にある中学校や寺子屋での教育支援、日本語学校で学ぶ15人の優秀な学生への「田中作次奨学金」の支給、ミャンマーを訪問した東京東江戸川RC（第2580地区）、池田くれはRC（第2660地区）、大宮シティRC（第2770地区）との交流などについて報告され、さらに、学友3人が新会員として加わったという嬉しいニュースもありました。



今回の総会で役員改選が行われ、初代会長を務めたタンシンナインさんに代わり、第2代会長としてケイカイン ウィントウラさん（2010-11/京都西RC）、副会長にソータイさん（2012-13/いわき平RC）、ほか5人の理事が選任されました。この4月から新役員での体制がスタートします。新会長のケイカインさんは、「情報交換を良くし、皆で力を合わせて、学友誰もが参加しやすい、温かい学友会を目指します」と、抱負を語っています。

絆 in モンゴルに参加しよう！ — 登録は4/30迄 —

前号でお知らせしたとおり、2年に1度、学友会が協同で開催する米山ファミリーの集いが7月27日（土）～28日（日）の2日間にわたり今回はウランバートルで開催されます。

3月中旬の登録開始から大きな反響をいただき、4月10日時点で、日本から160人を超えるロータリアン、学友が登録しています。また、台湾学友会から40人超、ベトナムや中国など海外在住の学友も続々と参加予定です。

迎えるモンゴル学友会では、70人体制で、心を込めた“おもてなし”の準備にあたっています。7月はモンゴル観光のベストシーズンであり、航空券も通常10万円以上しますが、同学友会では、国営のMIAT航空と直接交渉し、「絆 in モンゴル」参加者のために特別価格の座席を多数確保。希望者にはおすすめの5つのホテルを予約代行してくれます。

懇親会だけでなく、2日目にはモンゴル伝統の遊牧祭というお楽しみも。「モンゴルに一度は行ってみたい」とお考えの方、モンゴルの学

友はじめ、世界各地からの学友と交流したい方には、またとないチャンスです。多くの皆様のご参加をお待ちしています！

登録締切は4月30日です。特に、特別価格の航空券、ホテルの予約代行をご希望の方は必ず4月30日までに登録ください。まずは登録（ホテル予約代行希望者は登録時に申込み可）、その後、航空券の手配を各自で行います。

第1回「感謝 in 熊本」からバトンを受け、2年をかけて準備してまいりました。モンゴル学友会一丸となって、皆様を歓迎する準備を整えています。多くの皆様と7月、モンゴルでお会いできることを楽しみにしています！



「絆 in モンゴル」実行委員長
ジャンチブ・ガルバドラハ

申込書など詳細は右 QRコードを読み取るか、当会 HP のトップページ > News & Topics
【!】重要なお知らせ をご覧ください





文庫通信 [376]

ロータリー文庫通信376号 2019年4月 新会員のためのロータリーの歴史文献

2019年規定審議会では多くの重要法案が採決され、否が応でもこれからのロータリークラブ／国際ロータリーの管理・運営に影響を及ぼします。これからのロータリーを考える上で、ロータリーの歴史を知ることはその第一歩です。特に、新しく入会された会員のために文献を選びました。初期の頃と今とでは、ロータリーの本質の捉え方も異なってきております。歴史的記述には間違いや相反するものも含まれています。冷徹な批判的な眼をもって、過去を正しく分析し、未来のロータリーを考えてください。

書名	著者 / 出版社	発行年	頁	
ロータリーの歴史年表(2018年12月改訂版)	諏訪昭登 -	2018	10P	※
奉仕の一世紀 国際ロータリー物語	デイビッド C.フォワード著; 菅野多利雄日本語訳監修 R.I.	2003	331P	※
ロータリー日本五十年史	- ロータリー日本50年史編集委員会	1971	430P	※
ロータリー進化論	前原勝樹 -	〔1985〕	19P	※
ロータリー歴史探訪	田中毅 -	2004	131P	※
新会員のためのロータリーの歴史	佐藤信 -	1987	48P	※

・上記 ※印はデジタル化されている資料です。

* 資料の検索は文庫ホームページから <http://www.rotary-bunko.gr.jp>



トップページには三つの窓があります。上記矢印「HP利用方法」をクリックしていただきますと、「ホームページの利用方法」というPDFが表示されます。

ここには1999年2月ホームページ開設以来、データベース化された全ての資料の検索方法が書かれています。

尚、過去の文庫通信一覧については、左窓の「詳細はこちらへ」をクリックしてください。

月信編集委員会からのおねがい

- ガバナー事務所への月信に関するご連絡は、FAX またはE-mailにてお願い致します。折り返し、できるだけ早くご連絡致します。
- 投稿は原稿(写真付きの場合は一緒に添えて)を掲載月の前々月20日までに、事務所必着でお送り下さい。原稿はなるべくパソコンでの作成をお願い致します。掲載の採否、字数の整理、並びに止むを得ない掲載月の変更等につきましては、月信編集委員会にご一任下さい。
- 物故会員のご連絡は、専用の用紙にてFAXをお願い致します。

月信編集委員会

- ガバナー 山本 博史 (大阪南RC)
- 地区代表幹事 宮里 唯子 (茨木西RC)
- 地区副代表幹事 山本 和良 (大阪南RC)
- 担当地区幹事 横尾 国治 (大阪南RC)
- 地区幹事 木村 芳樹 (大阪南RC)
- 地区幹事 栗原 大 (大阪フレンドRC)
- 事務所属員 井上 望美

2018 - 19年度
国際ロータリー 第2660地区

ガバナー事務所のご案内

●事務所スタッフ

ガバナー	山本 博史
地区代表幹事	宮里 唯子
地区副代表幹事	飯井 克典
	山本 和良
事務所長	五味 千秋
事務所属員	栗正 久美
	井上 望美
	船橋 美紗子
	杉本 亜鶴巳
	武井 知子

●所在地

〒541-0052
大阪市中央区安土町1-5-11
トヤマビル東館6階
TEL 06-6264-2660
FAX 06-6264-2661
E-mail gov@ri2660.gr.jp

●ホームページ

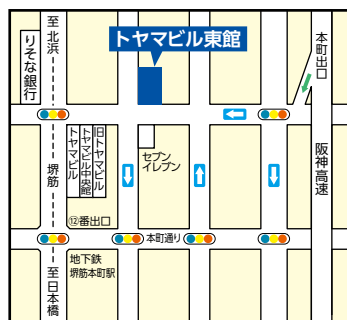
<http://www.ri2660.gr.jp/>

●勤務時間

9:30~18:00

●休日

土曜、日曜、祝日



※地下鉄堺筋線 堺筋本町 ⑫番出口すぐ

ガバナー事務所に会議室を併設しております。

最多 36名

詳細はガバナー事務所までお問い合わせください。



国際ロータリー 第2660地区

〒541-0052 大阪市中央区安土町1-5-11 トヤマビル東館6階

TEL : 06-6264-2660 FAX : 06-6264-2661 E-mail : gov@ri2660.gr.jp

Rotary International District 2660

Toyama Bldg. East 6F, 1-5-11 Azuchi-machi, Chuo-ku, Osaka 541-0052 Japan

TEL : +81-6-6264-2660 FAX : +81-6-6264-2661 E-mail : gov@ri2660.gr.jp